

令和5年度旭川市工業技術センター 第1回運営委員会会議録

日時 令和6年3月19日（火）午前9時30分～

場所 旭川市工業技術センター2階視聴覚室

出席者 会長：佐々木通彦

委員：森本千晶，松田誠一，関山真教，黒田隆一，石津豪一，新山辰彦，川口勤

市側：経済部長 三宮元樹

経済部産業振興課長 住吉俊彦

工業技術センター所長 村上雅徳，ほか工業技術センター職員3名

委員会の公開，非公開の別 公開

傍聴者 なし

当日資料

- ・次第
- ・令和4年度事業報告
- ・令和5年度事業経過報告
- ・令和6年度予算
- ・工業技術センターの避難所指定について

【1 開会】

【2 経済部長挨拶】

【3 運営委員紹介（自己紹介）】

【4 工業技術センター職員紹介】

【5 会長及び副会長の選出】

会長に佐々木委員，副会長に菅委員を選出

【6 新会長挨拶】

【7 議事】

（議長）

それでは，議事に入ります。

まずは，議案第1号令和4年度事業報告について，事務局，説明をお願いいたします。

（事務局）

それでは，資料1を御覧ください。ポイントを絞りながら報告させていただきます。

工業技術センターの事業内容「3 試験検査及び測定」でございます。

当センターでは，工業材料の強度試験，引張試験や圧縮試験などを行い，成績証明書を発行しており，令和4年度の実績は，合計で882件となっております。ちなみに今年度は，現在約820件となっており，前年度と比較しますと減少してきております。原因としましては，成績証明書を必要とする公共事業の減少や，引張試験の検査方法が色々変更になってきていることが考えられるところでございます。試験別の利用につきましては，各試験の利用内訳を御覧ください。

続きまして，「4 機器解放及び貸室」でございます。（1）機器の使用料及び件数は，483件，1360時間となっております。機器の利用状況の詳細につきましては，表のとおりであります。御覧いただきますと分かるように，レーザー加工機の利用が全体の50パーセントを占めております。ちなみに，今年度につきましては，現在のところ508件，1651時間の利用ということで，昨年度と比較しますと利用件数及び稼働時間は増加傾向にございます。

続きまして，（2）部屋の使用料及び件数は，268件となっております。今年度も同じぐらいの件数で推移していることから，コロナで控えていた対面での会議や研修会等が，通常どおり行われてきていることが窺えます。

続きまして，「5 技術指導及び相談」ですが，件数は38件となっております。相談内容としましては，材料や試験検査に関することが10件，各種加工検査機器に関することが15件，その他が13件となっております。

続きまして，「6 講習会，研修会等の開催」ですが，24件開催し，受講者数は延べ156人となっております。（2）講習会等実施内容一覧の①が，工業技術センターの職員が講師となって行う講習会となっており，企業の方からお申し込みがありますと，1名から随

時開催するものでございます。続いて② 他機関との共催講習会等ですが、こちらは、高専の先生を講師として実施した3DCADの講座や、高等技術専門学院の先生を講師としてシーケンス制御の基礎講座などを実施しました。

続きまして、「7 情報収集及び提供」では、資料の開放をはじめ、企業情報のデータベースなどをホームページに掲載し、情報提供を行っております。

続きまして、「8 その他の主な事業」としましては、各種会議への参加などを記載しております。

駆け足ではございましたが、以上で令和4年度事業報告の説明を終わります。

(議長)

ありがとうございます。ただいま事務局より議案1号、令和4年度事業報告について説明がありましたが、委員の皆さんで何か御意見、御質問はございませんか。

(議長)

よろしいですか。はい、ありがとうございます。それでは、議案第1号について御承認いただける方は、拍手にて御承認いただきたいと思っております。ありがとうございます。

続きまして、議案第2号令和5年度事業経過報告について、事務局、お願いいたします。

(事務局)

それでは、資料2を御覧ください。

最初に、「1 令和5年度予算」ですが、施設管理費は、施設を維持するための費用になります。今年度は、電気料金の高騰が影響し、今年2月の第1回定例会に91万7000円を補正予算として計上しました。続きまして、技術指導行政費になります。こちらは、試験や研究、技術指導に関する経費となりまして、金額と実施する内容等については、例年と変わりありません。上から3つ目の設備整備費ですが、こちらは平面研削盤の修繕やパワーリフターの購入などを行ってきました。上から4つ目の施設改修費ですが、レーザー加工機用のミラー部品の交換と、工業技術センターの木の選定および伐採業務を実施しました。上から5つ目の機械金属認知度向上補助金は、令和5年度新規事業として実施いたしました。機械金属業界の人材確保に向け、業界の認知度向上に取り組まなければならないのではないかということから、これらの取り組みを実施する団体に補助金を支出しております。

次に、「2 講習会・研修会等の開催」になります。(1) 基礎技術講習 イ 講習一覧に記載されている内容の講習会を参加者の希望に合わせて随時開催しており、中でも、「6 製品製作のいろは」と「7 ガス切断・現場製作について」を新たに開講したところです。「6 製品製作のいろは」については、北見市の企業の方が溶接の方法について、定期的に習いに来ております。次に、(2) 関係機関との共催による講習ですが、11月に、高専

の先生を講師として SolidWorks を使用した基礎講座を実施しました。また、3月には、16年ぶりに札幌の道総研の移動工業試験場を、当センターを会場として実施し、19名参加いただいたところがございます。また、今月の25日、26日には、旭川高等技術専門学院の先生を講師として、シーケンス制御の基礎講座を今年も開講する予定で、この講座は、申し込みの受付を開始したところ、電気関係の事業者様の参加が非常に多く、シーケンスは部品として入ってきて取り付けることが多く、中身がどのような仕組みになっているのかを知りたいということから、電気関係者の方の参加が非常に多いところがございます。続きまして、(3)施設見学の受入です。紙面に記載のある団体等の受け入れを行いました。直近ですと、美瑛町の児童デイサービスに通う子どもたちが施設体験に来られ、自分の名前が入ったプレートをレーザー加工機で切り出し、それをプレスブレーキで折り曲げる体験や、オリジナルのキーホルダーを紙やすりで研磨し製作する体験などを行いました。続きまして、今年度、特に力を入れてきた項目、(4)メタルワーク体験事業になります。こちらの事業は、旭川機械金属工業振興会と共催で開催しており、キャンプで使用できるミニテーブルの制作や銅板レリーフ制作など、計5回開催し、延べ100名以上の参加となっております。ここで第5回の体験事業の光景を動画にまとめましたので御覧ください。

(動画再生)

(事務局)

以上、メタルワークの5回目の内容を御覧いただきました。そちらに記載があるように、旭川市が主催しているキッズタウンという職業体験のイベントに参加したり、本日、石津センター長も御出席いただいているポリテクセンターのものづくり体験教室にも参加するという形で、本年、実施してきました。

続きまして、「3 情報収集及び提供」になります。現在、旭川市のホームページには約130社の登録企業情報があり、今回、掲載企業の情報について、検索する企業が求めている情報を最初の方に持ってきたり、写真の掲載がない企業については、当センターの職員が撮影に行くなどしてリニューアルしたところです。

続きまして「4 施設改修」については、予算のところでも説明しましたように、敷地に生えていた樹木の剪定、伐採を行いました。

最後に「5 その他」ですが、吉峰鉄工株式会社様からスポットエアコンと膜厚計の寄贈をいただきました。

以上が令和5年度事業の経過報告になります。

(議長)

ありがとうございます。ちなみに、補足させていただきますと、このメタルワーク体験事業については、オール旭川で行っている旭川デザインウィークの取組みの一環として、

機械金属業界の分野を工業技術センターに担っていただき、子供たちを集めて、このメタルワーク体験事業をやっております。

それでは、ただ今、事務局から議案第2号、令和5年度事業経過報告について説明がりましたが、委員の皆さんで何か御意見、御質問はございませんか。

(委員 A)

講習会等の参加者は、どのように募集したのか。

(事務局)

今年度は、データベースに登録のある130社、全てに電子メールで周知しました。その後、我々の関連団体として、商工会議所や、工芸センターを通じて、家具業界などに周知を図ったところです。特に、旭川高等技術専門学院と共催で行っているシーケンス制御基礎講座は、過去に電気関係者の参加が多かったということで、電気工事業協同組合などにも周知したところであります。

(議長)

ありがとうございます。他にございませんか。

それでは、議案第2号、令和5年度事業経過報告について御承認いただける委員の方は拍手にて御承認いただきたいと思います。ありがとうございます。

続きまして議案第3号、令和6年度予算について、事務局、お願いいたします。

(事務局)

資料3を御覧ください。令和6年度予算ということで、先ほど御説明しました令和5年度の予算と比較しまして変更のあった箇所のみ御紹介したいと思います。

資料下段、右から2つ目の設備整備費です。この中には、次年度、当センターの蛍光X線分析装置の新規更新費用の予算が計上されております。次に、その隣の施設改修費であります。こちらは、当センターに入居されている各団体様の事務室にエアコンを設置するための費用が計上されておりますのと、工場等で機械を利用される方々のためにスポットエアコンを1台導入予定で、昨年度のような猛暑の中でも過ごすことができるように環境の改善を図ってまいります。簡単ではございますが、令和6年度の予算についての説明は、以上となります。

(議長)

ありがとうございます。ただいま事務局より議案第3号、令和6年度の予算について説明がりましたが、委員の皆さんで何か御意見や御質問はございませんか。

よろしいですか。それでは議案第3号、令和6年予算について御承認いただける委員の

方、拍手にて御承認いただきたいと思ひます。ありがとうございます。

続きまして、議案第4号、工業技術センターの避難所指定について、事務局、お願いいたします。

(事務局)

資料4を御覧ください。避難所の指定についてです。これは、工業技術センターを避難所と指定することに対し、委員の皆様の御意見を伺いたいという内容になっております。

それでは簡単に経緯から御説明いたします。

まず、工業技術センターの在る、ここ工業団地でございますが、約3千人が、毎日働いており、万が一、この状況で被災した時に、この地区の避難所が旭川小学校のみとなりますので、避難所が遠いという点について、懸念しておりました。

次に、旭川市の避難所の現状ですが、市内の各小学校や公民館などを避難所として指定しているような状況であり、工業団地の場合は、工業技術センターに隣接している日の出公園が避難場所となっているものの屋内の避難場所が設置されていない状況であります。また、動物園で観光客が被災した場合にも旭川小学校が避難場所になっている状況であります。災害対策の部門に確認をしたところ、避難場所の設定としては、あくまでも市民の数を元に避難場所を設置しており、観光客はその数の中に含まれていないという状況でありますので、特に動物園など観光客の多い施設で被災した場合は、一番近い場所として旭川小学校に避難していくことになるのではないかとというのが現状であります。

当センターを避難所とする場合には、会議室や視聴覚室、応接室が避難場所となるのではないかと考えております。

これらを踏まえた上で避難所として指定した場合の懸念材料ですが、1月の能登地震のように災害後、経済活動が再開してきた時に、当センターにまだ避難している人が残っていた場合、経済活動の再開を理由に、優先的に工業技術センターの避難所指定を解除して、近くの避難場所に移動してもらうことが可能なかどうかという点に関しては、避難場所として指定しているため、優先的な解除はできないとの見解であります。また、不特定多数の避難者を受け入れることになり、工業団地で働いている人のみを受け入れるというような指定はできないといった点が考えられます。

ただし、メリットとしては、避難所として指定していくことにより、工業技術センターの大規模な施設改修などに、国の財源等を活用できるのではないかとというのも考えられる状況であります。

以上、避難所の指定についての説明でした。皆様の御意見を伺えればと思ひます。

(議長)

ありがとうございます。ただいま、第4号議案、工業技術センターの避難所指定について事務局より説明がございましたが、何か御意見や御質問はございませんか。

(委員会 B)

避難所として、解放するべきだと思います。

(議長)

ありがとうございます。他にございませんか。

ちなみに、この 100 年間で、旭川で震度 5 というのはないらしいです。1 番大きいものでも震度 4 で、それも 1 回か 2 回ぐらいと聞いております。そのぐらい、この地域というのは安全、安心であるということが言えると思います。ただ、いつそのような有事が起きるか分からないという意味では、先ほど事務局から、この工業団地には 3000 人の中間就業人口があると言っておりましたけども、土日は、ほとんどいない状況であり、そのような中で、旭山動物園は、どちらかという土日が忙しいということがありますので、ぜひとも工業技術センターを避難所として考えたいと思います。

(議長)

それでは、第 4 号議案、工業技術センターの避難所指定について賛成される委員の方は拍手にて御承認をお願いします。ありがとうございます。

今日、予定されました議事については、以上でございますが、何か委員の方で御発言される方はおりませんか。事務局は何かありますか。

それでは、皆さんの御協力によってスムーズな審議が行われました。

ぜひとも、また次年度、この工業技術センターを中心とした地域の活性化に結びつけた取り組みに邁進していただきたいと思います。それでは、議長の任を降りさせていただきます。どうもありがとうございました。

(終了)